

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験科目名	専門試験（スラブ・ユーラシア学）
出題の意図	スラブ・ユーラシア地域の社会・文化とそれらの研究に必要な概念に関する基本的な知識を持っていること、および自身が研究を進める分野において、これまでの研究に関する一定の知識を有し、本格的な研究を行う準備が十分にできていることを確認する。

2026 年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） スラブ・ユーラシア学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

次の設問（1）～（5）のうち任意の2問を選んで解答しなさい。

なお問題文中の「スラブ・ユーラシア」は旧ソ連・東欧地域を意味する。解答はこの地域全体を論じてもよいし、この地域の特定の国家や地方に限定して論じてもよい。

解答用紙は1問につき2枚以内を使用し、各用紙の冒頭に選んだ問題の番号を記すこと。

- (1) スラブ・ユーラシアにおいて、AI（人工知能）などのIT（情報技術）の活用やデジタル化によって生じている新しい現象を取り上げて論じなさい。
- (2) スラブ・ユーラシアの国・地域を例にとり、いわゆる「多様性」について、どのような議論と実践が展開されてきたか、肯定・否定の双方の論点を踏まえつつ、具体的に論じなさい。なお、多様性全体について論じてもよいし、ある一つの局面を論じてもよい。
- (3) スラブ・ユーラシア地域における「歴史」や「記憶」について、特にそれらに関連して生じている対立に焦点を当てながら論じなさい。
- (4) 2つ以上の国・地域を比較しながら、スラブ・ユーラシアにおけるナショナリズムのあり方について論じなさい。
- (5) スラブ・ユーラシアの歴史においてあなたが関心を持っている時代をいくつかの時期に分けるとしたら、どのような区分が適切か。それぞれの時期の特徴と、画期となる年や事件を示しながら論じなさい。